

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-2-3 高齢者福祉の推進
---------	------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	高齢者福祉課長 杉原 雅行	電話番号	0852-22-5236
----------	---------------	------	--------------

事務事業の名称	社会福祉施設等整備事業（スプリンクラー）		
目的	(1) 対象	介護施設設置者	
	(2) 意図	介護サービス事業所における安全を確保するため施設における防災対策を促進する。	
事業概要	長崎のグループホームの火災事項に伴う消防署の指導強化や消防法施行令改正に伴う設置義務範囲の拡大を受け、スプリンクラー等を設置していない小規模施設等が行う設置に要する費用を助成し、入所者の安全を確保する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		100.00	100.00	100.00	100.00	
		整備施設/当該年度の整備計画施設数（H26年度末をもって事業終了）	実績値	100.00	100.00	100.00	100.00		%
			達成率		100.00	100.00	100.00		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		0.00	0.00				
		実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	87,211	0
うち一般財源(千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成26年度実績	
・スプリンクラー	22箇所
・自動火災報知機	2箇所
・消防機関通報用火災報知器	7箇所
・消化ポンプユニット	4箇所

6. 成果があったこと（改善されたこと）

改正消防法施行令の経過措置期限であった平成23年度未までに、設置義務のある施設はすべて設置が完了した。なお、平成24年度以降は、設置義務のない施設に対して補助している。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
一部に未設置の施設が残っている
- ②困っている状況が発生している「原因」
設置義務がないため
- ③原因を解消するための「課題」
設置の必要性を施設に理解してもらう必要がある

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

本事業は平成26年度で終了となり、平成27年度からは国交付金事業（国から市町村へ直接補助）となる。県としては、引き続き市町村と連携して、未設置の施設に対して設置の必要性を周知していく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）